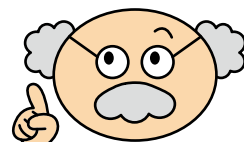


もっと知りたいな！教えて博士!!



空港から空港へ…、広い大空を今日もたくさんの飛行機が人や貨物をのせて飛んでいる。
もっと、もっと、知りたいな！空港や飛行機のヒミツ…。

『FSZ』って何のこと？

飛行機に乗ると、航空券や荷物のタグに、このような3文字のアルファベットを見かけます。

これは、「スリーレターコード」。世界中のすべての空港は、このコード（略語）で表されます。

富士山静岡空港は、F U J I S A N S H I Z U O K A だから『FSZ』と決められました。

HND = H A N E D A (東京国際空港 [羽田])

NRT = N A R I T A (成田国際空港)

アルファベットから連想できそうですね。

では、次のコードはどこの空港かな？

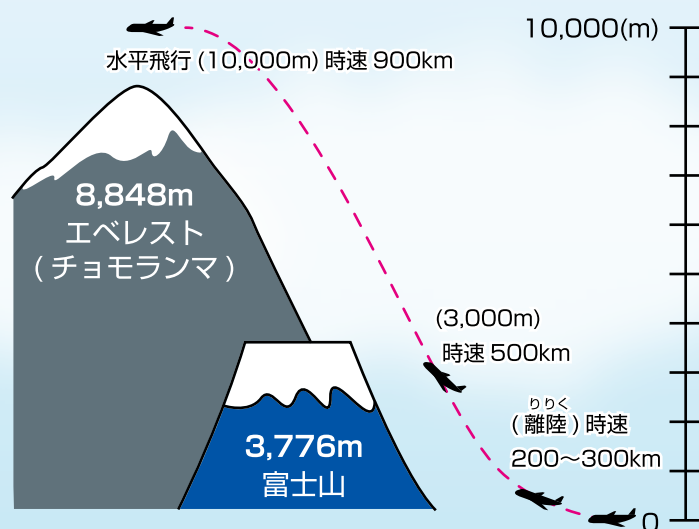
① OKA ② FUK ③ CTS ④ NGO ⑤ ICN



※答えはこのページの下にあります。

「10,000mの高さ」って？

空気は、高いところに行けば行くほど、地上に比べてうすくなります。飛行機にとっては、高いところを飛ばば空気がうすく、空気抵抗が少ないため前に進みやすくなります。けれども、10,000mをこえると、今度は空気がうすすぎて、エンジンの中で燃料が燃えにくくなり、推進力が弱くなって前に進まなくなります。だから、ちょうどいい高度が10,000mなのです。



トイレはバキューム！？

どこに行っても、なくてはこまるもの…それは、「トイレ」。

飛行機には、現在2種類のトイレがあります。1つは、「循環式」といって、タンク内の水をくり返し使って流す方法。もう1つは「バキューム式」。高度10,000mでは機外の気圧は約0.2気圧しかありません。一方、機内は約0.8気圧。空気は気圧の低いほうに流れる性質があります。このことを利用して、トイレとパイプをつなぐバルブをあけて、汚水はタンクに、空気は機外に出します。

水洗ノブを回したときの「シュゴーッ」という音は、このときの音なのです。

